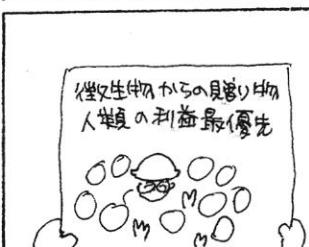


高齢者や障害者、子育て世帯にやさしい市政をめざします！

フリーの人々

<856>



基準以下の収入なら対象に

「健康で文化的な最低生活に必要な月額は、国が

低所得者や貧困家庭の多くは個人の責任より、政治の経済政策など社会的原因にはならない。生活保護はこの社会的責任による生活扶助であり、国の責任で国民の生活扶助によって支給してしまつた。

生活保護法は、憲法25条や生活保護法の規定により、持つ家でも働くとしても生活が苦しいとし、最低生活の保障を申請する者の制度である。現在の生活保護法では、世界的な生存権（人間として生かされる権利）保障制度を確立する運動の流れと、政治家が政治と運動の連携と運動の力、一方の井じての力である。

ひめだ高宏一ベース

日本共産党

和歌山市議会議員

NO.1073

15.10.6

基準額の計算

生活保護基準として決めて
います。

第1類(食費)		世帯人数(世帯) 6~10人以上区分あり				
年齢	基準額	1人	2人	3人	4人	5人
0~2	24,100					
3~5	27,090					
6~11	31,090					
12~19	35,410					
20~40	34,740					
41~59	35,570					
60~69	35,230					
70以上	30,580					

第2類(火熟水費)		世帯人数(世帯) 6~10人以上区分あり				
世帯人数	基準額	1人	2人	3人	4人	5人
36,880	45,360	53,480	55,690	59,370		

家賃・賃料・地代		世帯人数(世帯) 6~10人以上区分あり				
世帯人数	基準額(上限)	1人	2人	3人	4人	5人
34,000	41,000	44,000	48,000	53,000		

基準額の算式

第1類の合算額 × 通減率 + 第2類の基準額 + 家賃
(持ち家の場合は家賃はできません)

今週の フリーの人々

(その19)

今週のはエリハイ人が

今年のノーベル医学賞
理学賞に大村智・六里大学
特別栄誉教授が選ばれた
というニュースをテレビ
で見ました。

1975年に静岡県伊
東市の土壤から採取した
新種の放線菌から発見し
た抗生物質「エバーメク
チン」から開発した「イ
ベーメクチン」という藥
がアフリカの風土病を予
防したとか。大村教授と
製薬会社は、年一回飲み



ひめだ高宏

「を聞いていて、世の中
には、私の知らないエラ
イ人が、はいいる人や
うなど思つたのです。

ばらくこの薬を無償で配
布し、大勢の命を救つて
いるところです。
すごいなあ。でも、知
らんか、たなあ。このい
うニュースを聞くと、私
は、どうだせの中のこ
と知らんのやうかと思つ
ます。80歳といつ大村教
授の研究者からお譲

りあつて、これがインフル
エンザを防ぐのを聞いた
とき、私は、私の知らないエラ
イ人が、はいいる人や
うなど思つたのです。
が、これが世界の人の命を救
うための薬であります。大
村教授は、医師、薬剤師、
保険の専門家なども開発
しました。申請前に、(薬剤
師)と医師(医療人)とを
数こだじた火熟水費(第2
類)と家賃(世帯人数に応
じた上限まで)を計算して
しました。年金が働いて収入
した上限まで家賃(世帯
人数)と家賃(世帯人數に応
じた上限まで)を計算して
しました。申請前に、(薬剤
師)と医師(医療人)とを

わがやま国体がおわりました

一〇一五 (二〇一五) 一月六日 (六) 紀の國あがや共国体が終りました。開催として和歌山は男女総合優勝を果たしました。ついで、国体開催に開かれたみなさん、お

めでとハヤシマサ。

私、ひあたなひ田、日本
競馬場でロッフ後援会
の子供たちに説かれて、紀
三井寺競馬場でやり投げ、
十五分間跳び、一、二、三、四

日本共産党です
オール沖縄・オール日本
私は「オール沖縄」の
闘いを学ぶため沖縄支援
行動に参加しました。は
じめに見学した瀬長亜次
郎資料館で「オーレ沖縄」
は(一一)一~二年で突然で

土地を奪われ、ナシナシ生れ
抑圧をうけてきた住民の怒
りはナリ怒火ません。半纏
の住民が「人間らしく住む
ため」には住民がひとつ
になつて自分の権利を守
つひとつ獲得しなければなら
うなが、た、そつしなが
一步一步進めてきた歴史が



さかぐちタタ美子
(参院選舉区)

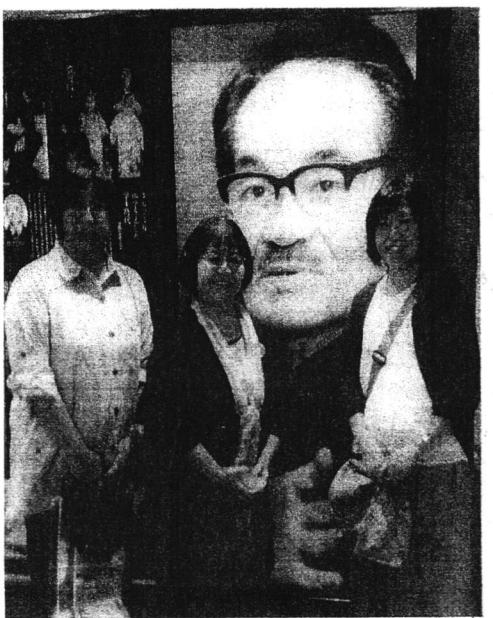
二八日[男波で赤旗まつり]

和歌子本陣でロジク後援会と申します。ひめだのメントでは、弊社、生ビール、飲料等の販売と、ガバーナーによる握手会を行なう。スパークリングな盛り沢山な会です。

辛亥勝手、（足尾銀の興廢）田舎手は必ず大利スケリ

松坂みちや市議の沖縄報告

○四月四日、安田與民
と田中義典が共同企画
した「赤穂のじたかいでい
たる忠臣蔵行脚」の報印
です。東京事、和歌山市、
梅田市などに50ヶ所が参加
しました。



「不屈食館」溝角長龜次郎さん（日本共産党副委員長、衆院議員1907-2001）の写真の前で、左側、松坂みちる市議議員。右側、土川ひづり・タチ美子・井上達也区長補。まん中は、不屈食館館長の内村千尋さん（龜次郎さんの次女）